

大産大、金沢工大の猛追振り切り8強

男子	第56回	西日本学生	本社主催
女子	第55回		
バスケット			

第5日(1日、大阪市中央体育館)

男子5回戦、女子4回戦が行われ、8強が出そろった。男子は大産大が76-70で金沢工大を下した。大商大は残り16秒で九州国際大を逆転し、99-98で劇的な勝利を収めた。女子では昨年の関西リーグ1部で4位に入った武庫川女大が、82-112で信州大に敗れた。

結成7年目4年生コンビがけん引

【男子】
▽5回戦

大産大 76
17191822
22101622
70 金沢工大

チーム一丸で大産大が勝利を手にした。40-38と2点をリードして迎え

た第3クオーター。主将のG野々口航太(4年)を中心とした攻撃でリードを11点に広げると、第4クオーターは金沢工大の猛追を振り切った。野々口は「自分がポ

ールを取られて足を引張った」と謙そんしたものの、30得点を奪う活躍。大商学園高時代の同期生、F遠藤も10得点を挙げた。今年で結成7年目の4年生コンビがけん引役になった。下級生も、しっかりと役割を果たしている。F内海哲也(1年)はWRリーグ・JOMO監督と女子日本代表監督を兼務す

【男子】
▽5回戦
近畿大学 73
大阪商大 78
兵庫産大 78
京大 78
九産大 78
産大 78

110736398786193111
6244605977456482
中大阪 西南 広新 関西 武庫川
京大 阪国 南大 島経 西女 庫川
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大



大産大・野々口(右)は競り合いながらシュートを決める。大阪市中央体育館

役だが「応援で盛り上げます」と、裏方としてチームに貢献している。昨年の先発から2人が卒業で抜け、上級生と下級生との関係がチームの生命線になった。野々口は「みんなで準備をするバスケットで、優勝を目指します」と宣言。頼れる主将の下で一つになった大産大に、恐れるものは何もない。(広川 継)

石原FT決める

△男子・大商大▽PG石原(4年)が、殊勲のフリースローを決めた。97-98で1点を追う残り時間16秒ドリブル突破でファウルを誘うと、このチャンスをも2本とも決めて勝利を手繰り寄せた。この日は4得点だったが、

大きな仕事をやったのけ「入っちゃいましたね。手が震えてましたよ」と興奮気味にまくしたてた。